

西暦 2024 年 2 月 14 日

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業 研究経過／終了報告書／成果報告書

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業
研究利活用委員会 委員長殿

所属医療機関 国立精神・神経医療研究センター病院

申請者 平林 直次

重度精神疾患標準的治療法確立事業（医療観察法データベース事業）において収集されたデータを用いて行う研究について、

継続中につき、経過を報告します。

終了したので、結果を報告します（終了後の成果報告の予定 あり なし）。

終了後に成果を公表したので、報告します。

申請 番号	MTSA-007	研究 課題名	医療観察法対象者の類型化に関する研究
研究結果（経過）： 入院データベースに登録されている診療データのうち、法施行から 2021 年 6 月までに入院処遇が決定した全対象者 3,743 名分のデータの提供を受け、TwoStep クラスタ分析を用いて分析を行った。主診断（ICD-10）をもとに、F2（精神病性障害）と F2 以外に分け、F2 以外をさらに診断ごとに細分化し、診断ごとに重複障害や対象行為、在院期間や退院後の処遇を投入し、類型を可視化した。 F2 は、5 年以上の超長期入院が多い F8 が重複する集団、3 年以上の長期入院や処遇終了が多い F1 および F7 が重複する集団、および重複障害のない集団の 3 個の基本類型に分類された F3 は、性別および対象行為と転帰の関連が強く、嬰兒殺害の女性（治療は比較的スムーズに進む）、および粗暴行為を繰り返す双極性障害（長期入院になる）と考えられる集団が観察された。これらのように、対象者の特性を治療軸と処遇の軸の 2 軸を念頭に、基本類型を提案した。引き続き、詳細な分析行っていく予定である。			
上記公開に際しての希望： <input checked="" type="checkbox"/> すぐに公開してよい。 <input type="checkbox"/> 年 月以降に公開してよい。 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
研究利活用委員会に未報告の研究成果公表実績（学会発表、論文など）： 1) 河野稔明, 小池純子, 竹田康二, 壁屋康洋, 曾雌崇弘, 岡野茉莉子, 藤井千代, 平林直次：医療観察法対象者の類型化の試み. 精神科 43(1), 109-116, 2023 2) 小池純子, 河野稔明, 岡野茉莉子, 竹田康二, 藤井千代, 平林直次：医療観察法対象者の入院期間異影響する因子について. 精神科 43(1), 100-108, 2023 3) 河野稔明, 小池純子, 竹田康二, 壁屋康洋, 曾雌崇弘, 岡野茉莉子, 藤井千代, 平林直次：医療観察法データベースを用いた基礎的変数による入院対象者の類型化. 第 19 回司法精神医学会, 東京, 2023			

※事務局記入欄

初回申請

2022 年 11 月 18 日

初回承認

2022 年 12 月 16 日